

令和6年度 地域づくり団体活動支援事業実績(都道府県協議会)

NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ	実施日
1	群馬県地域づくり協議会	島谷 千春	加賀市教育長	自分事／当事者になるってどういうこと？～加賀市の学びの改革から地域づくりを考える～	令和6年8月23日(金)
	講演内容			研修成果	
講演会では、地域づくりを「加賀市の教育方針」から学ぶ、「普通」の子どもはどこにもいない、子どもたちは「人」それぞれ。今までは学びをひとつの箱に押し込めずに、枠に入らなかった子どもたちを収めるように教育をしてきましたが、加賀市は、それぞれのやり方で学んでいく、自ら「PLAYER」となり課題に応じ自分に合った空間・スタイルを知っていく方針へ転換しました。地域づくりも同じで、住んでいる人たちが「PLAYER」になり、子どもたちをとりまく大人たちの世界が、考えて・動いて・生み出している人がいれば、子どももきっと追いついてくる。 また、トークセッションでは、群馬県内で活動をしている学生3名に活動発表と活動を通して出会った人たちの印象や自分の変化などを聞き、「自分(たち)に必要なことを自分(たち)で考えて取り組む」ために地域社会は何か大切なのかを考えました。			島谷教育長の講演で、教育の学びと地域づくりの在り方について学び、トークセッションで今の高校生が思っていること、感じていることを聞いて、参加者の皆様からは「自律した学びでが育つような環境づくりに努めていることがよく分かりました。」「一番苦しい子が自力で進むことができることができる環境、やらされ感のない教育プログラムがあれば、不登校や不登校傾向にある子どもたちに少しでも手を差し伸べることができるような気がしました。」「自分事として主体的に取り組むことの大切さ。誰もが主役になれる現場。教育だけではなく市民活動団体や町内会の活動でも共通したものを感じた。」「地域づくりを考えた時にいかに子どもや若者が大切なのかをつくづく思いました。」「などの声をいただきました。これからの地域づくりが変化し、さらに良い方向にいくと感じられました。		
NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ	実施日
2	石川地域づくり協会	森山 奈美 伊藤 紗恵 太田 殖之 尾野 寛明 石井 重成	株式会社御祓川代表取締役 合同会社CとH 協働創業者 株式会社おやゆびカンパニー 代表取締役 有限会社エコカレッジ 代表取締役 青森大学社会学部准教授	いしかわ地域づくり復興塾	令和6年10月5日(土) ～12月21日(土)
	講演内容			研修成果	
令和6年度のいしかわ地域づくり復興塾は、能登半島地震からの復興に取組む団体・個人向けに「復興プランコース」を新たに設け、令和6年9月7日に無料の受講相談会を、10月5日から12月21日に本講座を開講し、受講生が自らの地域で今後取り組みたいことを「マイプラン」としてまとめ上げる講座内容として開催した。講座は前半にゲスト講師の講義、後半に受講者による演習(ゲスト講師もアドバイザーとして参加)で構成した。このうち、講師の講義は年間受講者以外の聴講も可能とし、地域づくりの第一人者から直接知見を得て、意見交換できる機会をより多くの地域づくり関係者が得られるようにした。 今回助成申請した講座における講義の概要は次のとおり。 【10/5:森山 奈美氏】 ○テーマ:能登が日本の未来を創るとは？ 地域づくりに取り組みたい方へ、地域づくりの現状について、各種社会モデル等を参考に講義いただいた。 【10/5:伊藤 紗恵氏】 ○テーマ:能登の先端から女性の働きやすさを二地域拠点の整備等を通じた地域との対話やコミュニケーションのあり方等について講義いただいた。 【10/26:太田 殖之氏】 ○テーマ:平時からのつながり、震災の前と後、地域づくり活動はどう変わった変わらなかった？地域の人と一緒に考えながら活動することで、地域にある価値を引き出すことについて講義いただいた。 【11/23:尾野 寛明氏】 ○テーマ:地域づくり最初の一步～サラリーマンでもできる、週末起業家という働き方働いている人でもできる、自分がやりたいこととプランのつなげ方やプランの実践の仕方、実際の事例を交えて講義いただいた。 【12/7:森山 奈美氏】 ○内容:「わがまちプラン・復興プラン」中間発表 石川地域づくり協会主催の研修シンポジウム「いしかわ地域づくり円陣」との共催による、パネルディスカッションの聴講及び受講者によるマイプランの発表を行った。 【12/21:石井 重成氏】 ○テーマ:心の温度に従おう 東日本大震災の支援経験を元へ、被災地での地域コミュニティのあり方や、復興に向けた実践方法について講義いただいた。			参加者アンケートでは、回答のあった方の大半から「満足した」「やや満足した」との回答があった。また個別コメントでは例えば「まちづくりのためには、小さなハードルを設定し継続して活動できる仕組みを考える必要があると感じた。 ・自身の関わっている活動を見直すきっかけになった。プレゼンテーション形式で人に伝える有用性に気づかされた。 ・平時からの関係性があったからこそ、震災を受けて今後の取組みかまはじまるきっかけづくりになるのではないかと思う。 ・他の方のプランを聞き、自分自身の考えが見直された。様々な視点からの意見を基に、プランを詰めることが勉強になった。 ・気合だけでは乗り越えられない局面にも直面するかもしれないので、様々な手法があり、経験豊かな方から学ぼうとする気持ちを忘れないようにしたいと思います。 といった感想など、多くの参加者が講座で得た気づきを回答しており、参加者が地域づくりを進めていくにあたり、ゲスト講師の講義がプラスになったものと思われる。 地域づくりの第1 人者から直接指導を受けたことで、年間受講者が作成するマイプランの課題解決につながった。最終的に、年間受講者4名が講座を修了し、延べ24名の聴講者があった。		